

調査の流れ

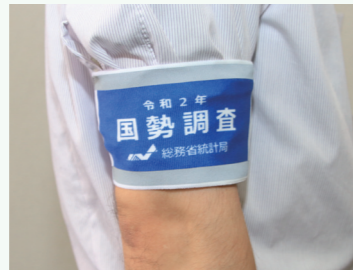
9月14日(月)～20日(日)に、国勢調査員がお宅を訪問し、調査書類を持参しますので、以下のどちらかの方法(*)で回答してください。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、できる限りインターネットによる回答をお願いします。インターネットによる回答が難しい場合は、調査票による回答をお願いします。

国勢調査員は、市町村長の推薦に基づいて総務大臣が任命する、非常勤の国家公務員です。調査員には統計法により守秘義務があり、個人情報の保護が徹底されています。



調査員は青色の手提げ袋を持っています。



調査員は腕章を着用しています。



調査員は「国勢調査員証」を身に付けています。

「インターネットによる回答」

1 アクセスする

調査書類が届いたら、回答サイトにアクセスしてください。

回答サイトへアクセス!!

国勢調査オンライン

<https://www.e-kokusei.go.jp/>



2 ログインする

調査書類の中の「インターネット回答利用ガイド」に記載されている「ログインID」と「アクセスキー」でログインします。

インターネット回答期間

9/14(月) → 10/7(水)

*インターネットで回答いただいた世帯は、調査票の提出が不要となります。配布された調査票には何も記入せず、廃棄してください。



3 回答する

画面の案内に沿って、国勢調査に回答します。最後にパスワードを設定し送信します。
※パスワードは再ログイン時に必要となります。

「調査票による回答」

(手書きで記入し郵送で提出または、調査員が回収)

1 調査票に記入する

「調査書類収納封筒」に同封の「調査票の記入のしかた」を読み、黒えんぴつで漏れなく記入してください。

2 調査票を提出する 【10月1日(木)～7日(水)】

調査票は、同封の提出用封筒による郵送で提出してください。郵送での提出が難しい場合は、約束した期日に調査票を調査員に提出してください。



3 提出確認

回収した調査票は「美浜町国勢調査実施本部」(町役場内)に届けられ、記入漏れ等がないかチェックされます。提出が確認できない世帯には、調査員が再度訪問します。

「10月1日現在で行う全国一斉調査」

国勢調査2020



今年は、5年に1度の国勢調査が実施されます。

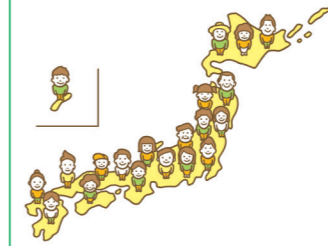
今回の調査は、大正9年に始まって以来、21回目となり、国勢調査実施から100年という節目の年です。

町民の皆さんにおかれましては、本調査の意義と重要性をご理解いただき、ご協力をお願いします。



「かたがり調査」に
ご注意ください！

国勢調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メール等にご注意ください。国勢調査では、金銭を要求することや銀行口座の暗証番号・クレジットカード番号をお聞きすることはありません。不審に思った際には、回答せずに、速やかに町まちづくり推進課までお知らせください。



国勢調査は、最新の人口・世帯等の実態を明らかにし、日本の未来をつくるために欠かせない、さまざまな施策の計画策定等に利用するための重要な調査です。
調査結果は、高齢者の介護・医療をはじめ、若者の雇用対策や児童福祉、地域の活性化等、住民が住みよいまちづくりのための基礎データとなりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

国勢調査は、法律に基づいて行われます

この調査は、「統計法」という法律に基づき、10月1日現在、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象に行う国の大規模な統計調査で、調査への回答は本法律により国民の義務として定められています。

調査事項

- ・氏名
- ・男女の別
- ・出生の年月
- ・現在の住居における居住期間
- ・就業状況
- ・就業地または通学地
- ・住居の種類等、全19項目

皆さんの個人情報
固く守ります

調査関係者が調査の結果を他人に漏らしたり、統計データを作る目的以外に調査票を使用することは法律で固く禁じられており、秘密の保持の徹底が図られています。
調査票は厳重に管理し、集計が完了した後はすべて溶かして処分されます。また、インターネット回答の場合も、通信はすべて暗号化されており、不正なアクセス等の監視を24時間行っています。

身近な生活に
生かされる調査結果

- 法律等に基づく利用
選挙区の改定や地方交付税の算定等に利用
 - 教育への利用
学術研究や小中学校等の教育用資料として利用
 - 行政施策等への利用
少子高齢化社会に対応した政策や防災対策等のまちづくり計画に利用
- 調査結果は令和3年2月から公表されます
- 調査結果は、市区町村ごとの人口・世帯数から順次公表されます。結果については、広報みはまでお知らせします。

調査に関するお問い合わせ先

【国勢調査コールセンター】

0570-07-2020

- ・受付時間 午前8時～午後9時
(土日祝日もご利用できます)
- ・設置期間 令和2年10月31日(土)まで

【町へのお問い合わせ先】

町まちづくり推進課(担当・川畑) ☎ 32-6701

美浜発電所の状況について



美浜発電所3号機の安全性向上対策工事について

関西電力(株)では、福島第一原子力発電所事故や海外の規制動向を踏まえて定められた新規規制基準に適合するため、平成29年6月から発電所の安全性を高める工事が実施されており、今年9月の完了が予定されています。

工事では、事故の発生・進展・拡大を防止する対策を何段階にも講じ、多様化・多重化が図られています。現在は大部分の工事が完了し、その他の工事についても9月完了に向けて作業が進められています。

現在進められている主な工事

- ① 3号機周辺の防潮堤構築工事
- ② 建物工事が完了した緊急時対策所、免震事務棟の設備設置工事
- ③ 火災防護対策として、重要機器ケーブルの難燃ケーブルへの取り替えや防火シートの施工



↑3号機を囲うように構築された防潮堤

町職員が現地で発電所の安全性向上対策を確認

町では、9月に完了予定の安全性向上対策工事等について理解を深めるため、全職員を対象とした発電所研修会を実施しています。研修会では、町職員が複数回に分かれて発電所に入り、現地で説明を受け、工事内容や強化された安全対策について確認しています。



↑緊急時対策所内の設備を確認



↑非常用発電装置を確認

行政チャンネル(091ch)の「原子カトピックス」でお知らせ

①原子力規制委員会による美浜発電所3号機の審査概要

美浜発電所3号機の「新規規制基準」適合審査及び「運転期間延長認可」に係る審査の概要について、行政チャンネルで放送します。

■放送期間 8月下旬から9月中旬まで

また、内容に関する皆さまからのご質問等を受け付け、質問に対する原子力規制委員会からの回答を、広報みはま町ホームページにてお知らせします。

②美浜発電所3号機の安全性向上対策工事について

これまで、安全性向上対策工事について同番組で3回にわたりお知らせしてきましたが、9月に工事完了が予定されていることから、完成した工事の全体概要をお知らせします。

■放送期間 9月下旬から10月上旬まで

※詳細な放映スケジュールは、事前に行政チャンネル等でお知らせします。

番組は、動画配信サイト「YouTube」の「福井県美浜町 原子力広報チャンネル」でもご覧いただけます。



町職員が放射線防護対策施設の運用手順を確認

町では、原子力発電所での方が一の事故等に備え、美浜発電所からおおむね10km圏内を基準として、町内6箇所に「放射線防護対策施設」を整備しており、原力災害時には同施設の運営を主に町職員が担う計画となっています。

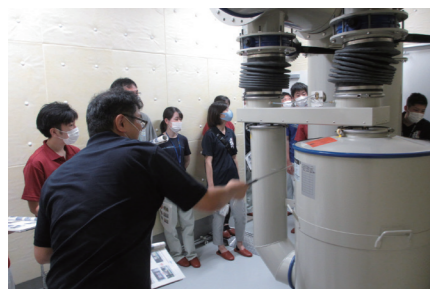
町では、施設の設営及び運営が必要となった際に迅速かつ的確に運営作業が行えるよう、8月6日に施設配置職員を対象とした運用訓練を実施しました。



↑ドームテントの設置方法を確認



↑ドームテントの特徴や機能を確認



↑フィルタリングシステムの操作方法を確認

放射線防護対策施設とは

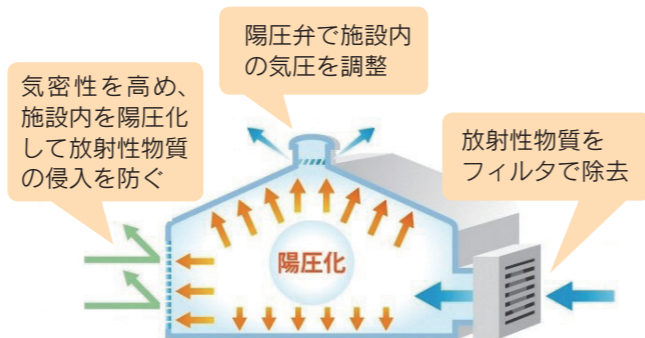
万が一、原子力発電所で事故等が発生し、町外(大野市またはおおい町)への広域避難が必要となった際に、直ちに避難を開始することが困難な要配慮者(※)や介助者がある場に留まらざるを得ない場合に備え、避難準備が整うまでの間、安全に一時的な屋内退避を行うことができる機能を有した施設。

※障がい者や高齢者、要介護認定者、難病患者等

放射線防護対策施設の主な機能

- ① 放射性物質の侵入を防ぐフィルタ機能
- ② 停電時においてもフィルタ機能や空調設備、照明機器等が使用できる自家発電設備
- ③ 屋内退避時に必要となる食料や生活用品等の物資の備蓄

放射線防護対策施設イメージ図



町内の放射線防護対策施設一覧

施設名	収容人数	防護区域
丹生介護予防センター(丹生公民館)	80人	2階の一部、3階
竹波原子力防災センター	80人	施設全域
山東公民館菅浜分館(旧菅浜小)	57人	ランチルーム 給食配膳室
美浜東小学校体育館	171人	ドームテント、トイレ、倉庫
東部診療所	72人	施設全域
美浜町農村婦人の家	80人	施設全域

※今年度、7カ所目となる「美浜中央小学校体育館」の整備を予定しています

原子力政策等の推進について 全原協が関係閣僚に要請

原子力発電所が立地する25市町村等で構成される全国原子力発電所所在市町村協議会(全原協)が7月28日に、小泉原子力防災担当大臣、梶山経済産業大臣、田中復興大臣に対し、ウェブ会議で要請しました。

要請では、同協議会会長の舘上敦賀市長の他、5人の副会長が参加し、次の内容等について求めました。



↑ウェブ会議で要請する舘上会長

- ① 福島第一原子力発電所事故の被災地復興
 - ② 原子力発電所等の安全規制・防災対策
 - ③ 原子力発電が果たすべき役割の明示や核燃料サイクル、バックエンド対策等の原子力政策の推進
 - ④ 立地地域の意向や実情を踏まえた地域振興制度の充実
 - ⑤ 原子力施設の安全管理や災害時の新型コロナウイルス感染症対策
- 町では、今後も同協議会との連携を図りながら、原子力発電に係る課題等に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス等の感染症対策 家庭でのごみの捨て方

全国で新型コロナウイルス感染者が再び増加しています。
今月号では、感染症対策のための家庭でのごみの捨て方について紹介します。
こうした捨て方を実践することは、家族にとってもごみ収集・処理を行う作業員にとっても、大切な行動です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・志賀) ☎32-6703

美浜の環境シリーズ130 environment

新型コロナウイルス等の感染症の感染者又はその疑いのある方の使用済みマスク等の捨て方

新型コロナウイルス等の感染症に感染した方やその疑いにある方の鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、次の3点に心がけてごみを出しましょう。

- 1 **ごみ箱にごみ袋をかぶせ、いっぱいにならないようにしましょう!**
- 2 **ごみに直接触れることのないよう、しっかり縛って出しましょう!**
- 3 **ごみを捨てたあとは、しっかり手を洗いましょう!**

ごみ箱がいっぱいになる前に、早めに出しましょう。



ごみは空気を抜き、しっかり縛って出しましょう。万一、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は、袋を二重にしてください。



石けんを使って流水で手をよく洗いましょう。



家庭ごみを出すときに心がけること(感染症対策)

- 1 **ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう!**
- 2 **ごみ袋の空気をなるべく抜いて出しましょう!**
- 3 **生ごみは水切りをしましょう!**

ごみの散乱を防ぎ、収集作業においてごみ袋が運びやすくなります。



ごみ袋が運びやすくなるほか、ごみ収集車での破裂を防止できます。



ごみの量を減らせるほか、袋に付着した水滴の飛散を防止できます。



- 4 **普段からごみの減量を心がけましょう!**
- 5 **ごみ処理施設の受け入れ状況や収集状況を確認しましょう!**

購入した食品は食べきる等、ごみを出さないことも大切です。家庭での食事機会が増える中、料理を楽しみながらできることがあります。

環境省「食品ロスポータルサイト」はこちら



ごみ処理施設の状況によって、ごみの直接持ち込みを停止している場合や収集スケジュールが普段と異なる場合があります。ごみを出す際は、町ホームページ等で状況を確認しましょう

※8月17日現在、通常通りです。



↑エコクル美方



JR美浜駅周辺のにぎわい創出に向けて JR美浜駅前広場等活用基本計画案の策定を報告

お問い合わせ先 町土木建築課 にぎわい拠点整備室 (担当・山本) ☎32-6707

8月5日に「JR美浜駅前広場等活用基本計画案」の報告会が町役場で開催されました。同計画は、現在整備中の道の駅を含めたJR美浜駅前広場の改修・開発及び活用に向けた基本的な方針を定めるものです。令和5年の北陸新幹線敦賀開業を見据え、計画には交通ターミナルとしての機能強化やにぎわい・交流の拠点としての施設の整備等の方向性が盛り込まれたほか、駅周辺のゾーニングや景観形成、実現に向けた課題についてもまとめられています。計画の検討に当たっては、町民や有識者らを委員とする策定委員会を組織して会議を重ねたほか、町民アンケートの実施やパブリックコメントの募集等を行ってきました。当日、計画案の報告及び概要の説明を行った同委員会の川本義海委員長(福井大学教授)は「整備前の段階から多くの方に継続的に関わってもらう機会を設けることで、愛着のある場所を作ることができると述べています。みんなの思いを形にしたい」と話されました。



↑計画を説明する川本委員長(左)

町は、基本計画案に基づいてJR美浜駅前広場ロータリーの整備を進めていく予定で、令和3年度中の完成を目標としています。また、駅周辺エリアについては、施設整備を含めて今後検討を進めていきます。



日本ボート協会が ジュニア・タレント合宿を久々子湖で実施

お問い合わせ先 町教育委員会事務局 ボートの町美浜推進室 (担当・荒木) ☎32-6709



↑選手らに激励品を手渡す森本教育長(左)

8月1日から12日にかけて、日本ボート協会が、ジュニア・タレント合宿が、県立久々子湖漕艇場で実施されました。同合宿は、日本ボート協会から強化指定を受け、国内・国際大会での活躍が期待される選手を対象に毎年開催しているものです。合宿には町内在住の8選手を含めた15人が参加し、新型コロナウイルス感染症対策をとりながらトレーニングに打ち込んでいました。8月7日には町からの激励品贈呈式が行われ、森本教育長より激励品が手渡されました。同合宿に初めて参加した、



↑久々子湖でのトレーニングに取り組む選手ら

柴崎峻佑選手(久々子)は「コロナの影響により大会等は中止になっているが、来シーズンを以降に備えて合宿や練習を通して成長していきたい」と意気込みを話されました。合宿に参加した町内在住の8選手(敬称略) 仲澤春香(関西電力(株)) 川村海(関西電力(株)) 村松栄理(関西電力(株)) 菅原陸翔(美方高校3年) 清水空(美方高校2年) 津志田匠太郎(美方高校2年) 柴田佳歩(美方高校2年) 柴崎峻佑(美方高校1年)